

昨年の寒修行

合掌。新年あけましておめでとうございます。檀信徒の皆様方におかれましては、旧年中は当山の護持運営におきましてご尽力いただき厚く感謝申し上げます。

第三十四世

順境院日攝

發行所  
山鹿市山鹿55  
圓頓寺  
☎43-2424

本年も改めましてよろしく  
お願いいたします。

さて、世の中には「仏教は  
お釈迦さまですから別に何  
宗でも良いのでは？」とい  
う方がおられるかと思いま  
す。

この問いに対しまして、  
お釈迦さまは以下のように  
経文にてお答えなさるので  
す。

法華経を説かれる前の無  
量義経にて「今まで説いて  
きた教えに真実はありません。  
四十余年、未だ真実を  
表わしていません」と。

また方便品にて「法華経  
を説くことが私のこの世に  
現れた最大の目的なのです

よ」と。

寿命品では「私は死んで  
も常にあなた方のそばにい  
ます。良薬（良き薬）をこ  
こに置いておくから自分で  
飲みなさい」と。

神力品にては「妙法蓮華  
経には真理や教えの全部を  
詰め込んでおくから、気が  
付いた人は弘めなさい。頼  
みますよ」と。

そして、この良薬こそが  
妙法蓮華経の五字であると  
気付いて、それを忠実に護  
り弘めようと生涯を捧げら  
れたのが日蓮大聖人であり  
ます。だからこそ日蓮大聖  
人が大変に尊き所以でもあ  
ります。

法華経を紐解けば、仏さ  
まの慈悲の真意に気付くは  
ずです。末法衆生は、すべか  
らく良薬である妙法蓮華経  
の五字に対し、南無（絶対の

帰依）をしなければなら  
ないのです。よって「仏教は  
お釈迦さまですから何宗でも  
良いのでは？」との問いに  
は、「よくありません」と自  
信をもって答えることが肝  
要です。

つまり、仏教の真意は妙  
法蓮華経であり、南無妙法  
蓮華経にあります。これに  
気付き、信行できる人にな  
れることを仏さまは常に願っ  
ておられるのです。

本当の仏意に沿う生き方  
をなすことが、日蓮宗檀信  
徒の一番大切な務めであり  
ます。再拝。



仁王尊像落慶入魂式

# 法華經と御遺文の学習

「世尊は慧の灯明なり。

われは記を授けらるる音を聞きたてまつりて、心、歡喜に充滿すること、甘露をもつて灌がる如し。」

『妙法蓮華經授学無学人記品第九』

今号では『妙法蓮華經授学無学人記品第九』中の經



文を学習してまいります。大意は次のようになりま

す。

仏さまの智慧は灯火のよ

うに明るく、一切の人々の心を照らし、迷いを取り除いてくださるのです。また、

仏さまは、私たち皆が菩薩の行を通して仏になること

ができること約束してくださったのであります。私たちは、

大きな喜びに満ちています。まるで、天から甘露をそそ

がれたようなありがたい気持ちになりました。

この章段にて仏さまは、菩薩の修行をもってこそ、

私たち全てが成仏できるといふ約束を与えられたので

す。

りに菩薩行に励み、成仏の直道を歩まなければなりません。そうすれば成仏の約束は必ず成就するのです。

つまり、大事なことは菩薩行第一であります。

「病によりて道心はおこり候か」

『妙心尼御前御返事』

続きまして日蓮大聖人の御遺文の解説です。

「苦しい時の神頼み」とよく

言います。人間はそれほど強い生き物ではありません。

日頃手を合わさない人でも病気になったり、大きな

困難に遭遇した時、神仏にすがりたくなります。これは自然の情ともいえるで

しょう。

人智を超えた大いなる存在に頭を垂れ祈りを捧げる。

## この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

ここに信仰との出会いがあるのではないのでしょうか。そう受け取るなら苦しみも神仏の慈悲の表れといえるかもしれません。ただ大切なのは「喉元過ぎれば熱さを忘れる」。重々用心しなければならぬのが凡夫の性です。

この御文章は駿河に住む妙心尼に与えられたお手紙です。建治元年、日蓮大聖人御年五十四歳の節であり



お盆お施餓鬼法要で供養する住職ら



護持会会長 栗原辰也  
謹んで新年のお慶びを申し上げます。

ご支援・ご奉仕に感謝

この妙心尼の夫が重病に罹りました。余命幾ばくもないなか、夫本人は元より自らも髪を落とし懸命に祈る妙心尼に励ましと夫の後の慰めを与えています。この中で「この病は仏の御はからいか」とも述べられるように現世安穩、後生善

檀信徒の皆様方には、ご家族お揃いで良き新年をお迎えのことと存じます。平成から令和と元号が変わりました旧年中、正月早々発生しました地震、上陸こそしませんでしたのが台風、大雨もあり、夏は猛暑で秋と感じた季節は短かった亥年に菩提寺興隆にご支援・ご

処をもたらす法華経信仰を深めるため、あえて仏が与えられた病であると諭されているのです。生きとし生けるもの、生老病死の四苦からは決して逃れることはできません。病も仏の慈悲心。慈悲心をどのようにとらえるかが大事であります。

モニールホーム  
鹿山  
天龍会館

宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211  
フリーダイヤル 0120-45-0948  
TEL (0968) 44-0444

芳志を賜りまして誠にありがたく、衷心より感謝申し上げます。

また、年間の六大法要を始め、新年祝祷会、寒修行、節分会(星祭り)、宗祖降誕会、護持会総会、清正公頓写会、龍口法難会、護法大会、除夜の鐘の各種行事等に護持会会員として、当番として、婦人会会員として準備から当日の料理・片付けと快く賄われご奉仕いただき、その御苦勞に心より感謝致しております。さらに、お盆前・正月前の合同大掃除、注連縄作りにと御苦勞いただき、境内外共に立派に整い、気持ち良くお盆施餓鬼法要、新年を迎えることが出来ました。これも皆様方のご奉仕のおかげです。

懸案でありました、熊本地震で崩壊した正面玄関の  
仁王尊像再建も、三月の春季彼岸総供養会・子安鬼子母神大祭に合わせ、檀信徒が山門前で見守る中開眼入魂式が住職、秋吉上人、福山上人により行われ、末永く菩提寺の守護を担っていただくものと思えます。



仁王尊像落慶入魂式

令和で迎えました今年も檀信徒の皆様方にはご支援・ご奉仕にお世話になることばかりですが、よろしくお願ひ申し上げます。いよいよ寒さ厳しい季節を迎えます。

お会式法話

ボランティア

大聖人の御言葉

荒尾市・正覚寺  
竹下義聡上人

住職が法話をいただく荒尾市・正覚寺御住職・竹下義聡上人を紹介し、竹下上人の発声で参詣の檀信徒と共に題目三唱で法話が始まりました。

す。檀信徒の皆様方健康に十分留意されまして、お元気で暮らしていただき、新年のご祈念申し上げます。新年の挨拶に代えさせていただきます。



ビル新築工事から増改築まで何でも致します

住宅金融公庫其他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

生まれは荒尾市ですが普通の家です。父が長崎のお寺に務めていたので高校まで長崎で育ちました。卒業後何の仕事に就くか考えた時に、お坊さんになろうかと思って父に相談したところ、

田んぼが広がって、友達はムカデです。お寺を出ると隣は大牟田市で、お檀家さんは熊本の方と福岡の方と半々です。不便ではないがテレビの話題が違います。とユーモアを交えて進められました。



**正立寺に弟子入り**

生まれは荒尾市ですが普通の家です。父が長崎のお寺に務めていたので高校まで長崎で育ちました。卒業後何の仕事に就くか考えた時に、お坊さんになろうかと思って父に相談したところ、

その後たまたま荒尾市の正覚寺さんに跡取りがいなくてお世話になりました。八十二歳のご住職と八十歳の奥様がおられて、三人で暮らしていました。先代住職が平成三十三年十二月に亡くなり、平成二十八年に奥様が亡くなり、今一人で法務を務めております。

ろ、「熊本市・正立寺に弟子入りしなさい」で、高校卒業と同時に正立寺に弟子入りし、立正大学に行き、お坊さんの資格を取って帰り、正立寺に四年間いました。

**正覚寺にお世話に**

昨日(十月十二日)から台風十九号の話がテレビなどですごいですね。熊本県日蓮宗青年会は災害が発生したらボランティアに行っています。東日本大震災の時

は岩手の陸前高田と広島へ、昨年は倉敷真備町へ行きました。災害を調べてみたら、平成三十年が十六回、今年が昨日も入れて十三回、熊本地震があった二十八年は十六回、月一回以上のペースで災害が起きています。ボランティアに行こうと思っても、どこに行ってもいいかわからないくらい災害が起きています。

は岩手の陸前高田と広島へ、昨年は倉敷真備町へ行きました。災害を調べてみたら、平成三十年が十六回、今年が昨日も入れて十三回、熊本地震があった二十八年は十六回、月一回以上のペースで災害が起きています。ボランティアに行こうと思っても、どこに行ってもいいかわからないくらい災害が起きています。

**今年の災害**

大小宴会・会食

# 横手会館

山鹿市九日町(八千代座前)

会館新敷大 人去遊新会共

## 割烹よこて

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

# 横手仕出し

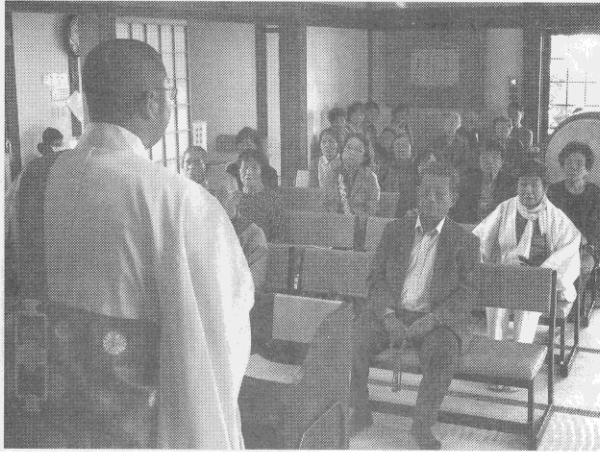
TEL. (0968) 43-2206

味品種岡 対辦煩幾升

0525-24 (8000)

肥後銀行前 TEL. 43-7500

熊本地震前震  
熊本地震が起きたとき皆



法話を聴聞する檀信徒

十三号で大雨、台風十五号では千葉でゴルフ場のネットが倒れました。正覚寺では大きな銀杏の幹が横に折れて、横に倒れたので本堂にかかりませでした。十七号では宮崎・熊本で停電。千葉では倒木などにより停電が長期化しました。

さんは大丈夫でしたか？一月に大雪で熊本・大牟田で断水しました。その時に水の大切さを知って、熊本の宗務所で機会があつてお話ししました。四月十四日夜揺れて地震です。次の日に師匠のお寺正立寺に行きましたが、もうひっちゃかめっちゃかお寺の中が、師匠から「明日法事のあるけん片づけてくれ」と言われて、取り敢えず全部は無理だけに、法事が出来る所だけ確保して帰りました。

熊本地震本震

翌十六日本震が来て、バタバタ。一日目に片付けに行つたとき師匠の眼は生きとつたんですよ。二日目に行つたときは「もうよか」って片付けてよかと、元に戻しても倒れたら物が壊れてしまうので、いつとき倒れたままにしておこうと。荒尾は高速道路の南関インターチェンジが近いので、佐賀・福岡・山口から青年会の方々が荷物をもってきてくれて、自分が道案内しました。三号線とか大きい道は渋滞がひどく、菊水から植木まで三時間とかかかります。自分が行く荒尾から金峰山を越えて本妙寺に行く道は誰も知らないからスイスイと行け、取り敢えず本妙寺までいつもと変わらない時間で道案内して、荷物を宗務所に置きました。

三つの話題披露

毎度ありがとうございます  
米・肥料・農薬・たばこ  
(全商品配達致します)

**(有)あそしな米穀**

代表取締役 阿蘇品 和彦  
☎ (0968) 43-2526  
無料電話 0120-23-2526  
山鹿市大宮町641-2

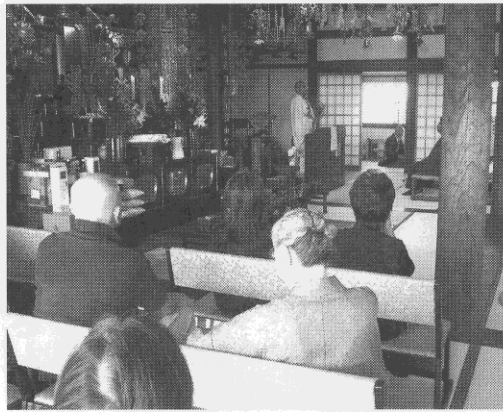
---

**熊本日口新聞**  
(有)熊日山鹿南販売センター  
山鹿市大宮町439  
(前座分千八) 阿蘇品 雅彦

---

社会福祉法人 大道福祉会  
**若葉保育園**  
理事長 阿蘇品 洋介

エピソード。③八十五歳のお爺ちゃんと奥様の相手を思いやるエピソードを紹介されました。



法話を聴聞する檀信徒

### 大聖人のお言葉

「本日はお会式日蓮大聖人の七三八回忌、ここまで法事をしていただけの大聖人のお言葉をご紹介させていただきます。『故郷の事』はるかに思い忘れて候いつるに、今、このあまのりを見候いてよしなき心おもいいでて、憂く

つらし片海、市河の小湊の磯のほとりにて昔見しあまのりなりき色形味わいもかわらずなど我父母かわらせ給いけん、方違えなる恨さ大涙おさえがたし』(新尼御前御返事) 昔ふるさとの事はすっかり忘れていたのに、今このあまのりを目にして……ふるさとから送られたあまのりに対してのお返しの手紙です。あまのりを目にして涙もなく胸が一杯になって辛くなってしまう。これはまさしく片海、市河、小湊の磯のあたりで昔見たあまのりに違いない。色も形もまったく同じである。何もかも普通どおりであり「あーどうして私の父母だけがお亡くなりになってもう戻って来て下さらないのか」と、まるで見当違いなうらめし

さに涙が流れて止めることが出来ない。日蓮大聖人は法華経布教のために親とはほとんど会われなかったと思います。この送られてきたあまのりを目にして、父母がいけないことに見当違いな恨めしさに涙が流れて止めることができない。しかし、ここまでして法華経の布教に務められた。私たちは日蓮大聖人のおかげで「南無妙法蓮華経」と唱えることができず。大聖人が一命をなげうって「南無妙法蓮華経」の尊さを身体をもつて護り保ち、弘めたこの教えを私たち自身身の教えとして、また今後私共も皆さんも「南無妙法蓮華経」と唱えていかれることをお願い申し上げます。

平成十七年度～令和四年度

りっしょうあんこく  
**立正安国**・表

だいもくけちえん  
**お題目結縁運動**

日蓮宗



マルカメ醤油・味噌

灯笼しょうじょう

山鹿市中1000-2  
☎ 44-3131



お会式で山鹿氏一族を供養する檀信徒

ましたけれども、今後発展・法華経を弘めるためには皆様のご協力が大事です。ご住職が頑張っても限界があります。皆様が支えて圓頓寺がもつと栄えるようにお願い申し上げます、大私のお話とさせていただきます。「南無妙法蓮華経」三唱で降壇されました。

(注)若坊守・唯さんがスマホから起こした原稿を、編集子が要約しました)



お会式：中原・田中総代行衣授与

**御先祖年末総供養  
普賢三宝荒神大祭  
おたきあげ式**

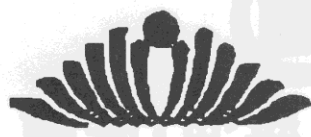
十二月になつて最も冷え込んだ八日、最後の六大法要「御先祖年末総供養・普賢三宝荒神大祭・おたきあげ式」が、椅子に座られない参詣者もあるほどの御参加をいただき、行われました。法要前に、妙教寺の松尾



導師、式衆を迎える檀信徒

英勝上人からお題目に合わせ、団扇太鼓の叩き方の指導もあり、多くの檀信徒が団扇太鼓を手にされています。

御先祖年末総供養  
午前十時三十分半鐘が叩かれ、大太鼓、団扇太鼓とお題目で導師の英人上人と院首英知上人、秋吉上人、福山上人、松尾上人をお迎えして、御先祖年末総供養が始



**天 寿 苑**

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

S-0001 中市野山  
1818-4425

宗教日



参詣の檀信徒



まりました。御宝前を住職が、切火・焼香・払子で清め、本堂にみ佛が姿を現してくださることを念ずる道場偈が始まり、開経偈、妙法蓮華経如来寿量品第十六、蓮華経、式衆と全参詣者で『南無妙法蓮華経』と唱題行を行い、式中婦人会代表三名による献膳の儀も行われました。住職が、『謹み

敬つて勧請し奉る：本日ここに令和元年師走年末総供養に遭い合う処：本日塔婆供養各家累代の各霊位回向し：』と回向されました。



唱題行を行う檀信徒

普賢三宝荒神大祭

引き続き続いて普賢三宝荒神大祭が厳修されました。住職の勧請に続く式衆の読経中、住職は檀信徒が申し込んだ先祖供養、家内安全、交通安全、商売繁盛などの特別祈願をひとつひとつ読

み上げ祈祷され、御宝前修法を住職、秋吉上人、福山上人により行われ、参詣の檀信徒は木剣修法、撰経による加持祈祷を受けました。

おたきあげ式

読経が続く中、檀信徒が持参した一年間お護りいただいた三宝荒神札、破魔矢、塔婆、古いお守り、お札等を住職が祈祷し、檀信徒代表により火入れ式がありました。その後、『：当山開山本光院日授上人以来歴代の上人の御宝前において本日この道場を荘厳し、一会の大衆と共に恭しく本年度普賢三宝大荒神を厳修し奉る：普賢三宝大荒神には五種の功德あり地水火風空これなり：』と住職が回向されました。

住職挨拶

法要終了後、『本日寒さ厳

建設業  
砂利採取販売業  
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483  
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

熊本県山鹿市栄町298  
電話(0968)43-2087

しき折当山最後の法要、御先祖年末総供養、普賢三宝荒神大祭、お焚き上げ供養を皆様と共に厳修出来ましたことを、感謝申し上げます。年末総供養では皆様方の御先祖、当山開創以来の多くの有縁・無縁の霊に對しまして皆様方と共に、お題目をもつてご回向いたしました。三宝荒神様は地水火風空、五大を司る、五大を守る法華経の神様です。本年の如く災害が多い年は地水火風空に感謝し、来年の



上村さんによる火入れ

安穩、安泰をお願いするといふ事は尊い行いです。本日のご供養・ご祈念によって、皆様方の来年度の更なる多くの幸せが訪れますようご祈念申し上げます。(三宝荒神様の祀りかたの説明後)、日蓮宗のカレンダーを差し上げました。ひと月ごとに大聖人のお言葉が掲載されています。日々のお勤めの中で拝読して、信仰に生かしていただければ幸いです。』住職は最後にご参拝に御礼申し上げます。挨拶されました。

総代挨拶

栗原筆頭総代が、『年末

のお忙しい中に最後の法要、御先祖年末総供養、普賢三宝荒神大祭にお詣りいただきありがとうございます。檀信徒の皆様におかれましては、今年の六大法要にそ

れぞれお詣りいただきご支援・ご奉仕をいただき厚く御礼申し上げます。』と御礼申し上げられ、寒さ厳しい時節の注意、菩提寺興隆へのお願いをされ、挨拶を終わられました。



おときをいただく参詣者

参詣の檀信徒は法要終了後檀信徒会館へ移動され、当番地区・婦人会・有志の皆様が作られた、おときをいただくことができました。



to make happy

エルアコンサルティング株式会社

取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■ アフラック生命 ■ メットライフ生命 ■ オリックス生命 ■ ソニー生命 ■ 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■ エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

熊本オフィス 熊本県熊本市南区田井島1-3-50 ガレリアII TEL:096-223-8105  
 山鹿オフィス 熊本県山鹿市中967-8 TEL:0968-43-1516  
 荒尾オフィス 熊本県荒尾市大正町1-1409-1 TEL:0968-64-7730